



昭和 60 年 12 月 1 日
木 第 五 出 張 所
川 第 五 出 張 所
昭 鈴 玉
TEL. 700-9120

お寺屋から 小学校へ

江戸時代、ペリーが浦賀に来航した嘉永六年（一八五三）瀬田村の大塚貞三郎と言う人が寺子屋「芝光堂（塾）」を村内に開きました。その後、明治初年まで門弟延三百余人との事ですから私塾とは申せ、近隣村々の小学校とも言えそうです。

明治十二年（一八七九）瀬田 用賀西村の村境に公立瀬田小学校が設立され、私塾の役目は一応終わります。大塚貞三郎は用賀村飯田武七と共に同小学校の学務委員に任命されています。さて、瀬田小学校は当初、校舎五十坪、生徒六十八人で始まり、歳月と共に生徒数も増え、校舎も増築されます。校地が狭くなり昭和十四年二月には、現在の場所に引越しました。

そして戦前に三子玉川、戦後、飯田、瀬田、用賀各小学校の生みの親となつていきます。

（飯田）

桃畑

逸名氏

昔、玉川軍を降りて少々下ると、桃の畑があった。春は赤一色に彩られた。その桃畑の外れに「玉川児童劇団」の、丸い館があり、「桃の実」が画かれてある。指導者は「川上貞奴」であった。よくピアノが鳴っていた。その付近には「玉川プール」があり、アメリカの「ワイズミューラ」等の水泳大会も開かれた。多摩川は清流で鮎などもよく釣れた。明治には若山叔水が来て石を投げた短歌などもあつた。伊藤左千夫が渡船で越えて桃を買っていた。

溝の口から北方に下る丘陵は「多摩の横山」と言つて「万葉集」に出てくる。

素朴な桃の畑も失せてしまつて三子玉川園となつていたが、その遊園地も昨今は閉園されて新しい計画がされている。

「貞奴」の児童劇団はどうなつたか、思い出はすべて淋しく、清流も消え、昔の良さは一部老人の物語りとなつてしまつた。

断片的記憶をたどるが、佳き多摩川は帰つて来ない。

（玉川在住）

まちの文化を辿る

美術館誕生への径

山科 芳一

来月三月末区立美術館が碓方ミリーパークに設立開館の運びと聞き感慨を覚えます。それは昭和五十三年九月議会でのこと、綜合文化会館設立構想が練り始められた頃でした。区長は大変絵画に造詣が深い方です。若し仮説として申し上げることをお許し下されば、対都交渉によつて碓方園内に文化会館を造り環境共に最適の利用地に加えて耐震構造を強化することにより災害時の避難拠点ともなり得ないだろうか、と尋ねた。（慈眼寺住職）

ねました折、当時の佐野企画部長さんが「碓方公園は都の管轄であるので難しいが、上野公園に文化会館が存在している例を挙げれば必ずしも不可能とも言えない。検討する。」とのご答弁がありました。その後私も自坊の生活に入りましたが、この度美術館として実現されることのお話に本当に感慨無量の思いです。これからの碓方公園の様相が想像できると共に又避難地域としても安堵の思いで一杯です。稀某委員の方から地政の文化施設について記述のご指命なので思ひつくままで敢て記させていただきます。（慈眼寺住職）

文化版

鈴木 武一

文化、文政、文文と文のコトバは多いけど、文明開化は明治です。

宮さん宮さんドンドコと西洋砲（の森）に送られてマッて来ました日本はロマンの太正通りすぎ昭和はナント忙しい。

戦争やったり困ったりピカドン一発ご聖断民主ニッポン誕生だ。

女とフツ下河とやうやたらに国際ハランでこどもの年もありました婦人の年もありましたことしや国際青年年

時は流れて様変わり昨日の法も今は無し車は五人は右

安全標語も変ですなやせしん思いやり

だけでは派らぬ事故の数先祖が築いた文化財

立派に守つて後の世に文化遺産を承継いで他人が見ようが見なからが現世に生きる我々に委され義務とつけとめてにコキ地下鉄新幹線

黙って走るモノレール羽田も成田も支那で世界の人が出入りする。日本よいつ二度はどうぞ東南アジアも政体も

埼京線の開通で都庁は新宿、本沢まり。地球は廻る目も廻る文化は進む止め度なく星は流れて空の果て……見果てぬ夢を追いつながら……。

あとかき

⑤ 師走も間近に、どちらのご家庭でも暖房は欠かせない季節になりました。

⑥ 昔から「三の酉」のある年は火事が多いと言われています。どう

ぞ、ま「火の元」に用心下さい。

⑦ ひろは 第6号は「まちの文化」をテーマに、祖先の残した文化財、それにまつわる行事、又、文化人の思い出の地、現在の文化

施設等をめぐってみました。今回「マップ」も、これ大きく盛りたくさんで、ご参考になると思います。

ひろは、が皆さまのひろはの話題になれましたらと、編集者一同願っています。(天呼)



⑧ 自動車図書館「ともだち」

- ・5000冊の本を積んだ箱車バス
- ・5冊まで2週間借りられる
- ・上野区...隔週土曜日の午後
- ・玉川...隔週木曜日の午後
- ・詳しいは「区のおしらせ」毎月18号までご覧下さい

⑨ 区指定有形文化財や号の頼田旧長崎邸住宅と移築復元。昭和五十五年十二月に開園されたもの。



⑩ 旧三菱財閥の岩崎弥太郎、小弥太父子により収集された和漢書と古美術品を大正十三年芝高輪より当地に移転、戦後公開されたもの。

文化マップ

作図 鈴木(堅)



昭和15年帝国競馬協会が騎手と競走馬養成のため開苑。現在一般馬術の指導のほか馬に関する各種調査研究をおこなわれている

⑪ 玉川台図書館 (玉川台区民センター内)
Tel. (709) 4164
・3冊まで2週間借りられる
・閲覧時間 平日 am9~pm7
土曜 am9~pm5
・休館 月曜・日曜・祝日

⑫ 第三回「ともだち」がわ文学賞がきまり、十二月八日玉川高島屋東館六階で、表彰式が行なわれます。多摩川の自然と環境保護の作品が二千点も集まりました。(池田)

⑬ 二子玉川の税務署の隣りのボラフティアビューロー内に「教育相談室玉川分室」が開設されています。お子様の教育についての、なやみらのご相談にお気軽にお立ち寄り下さい。
電話 709-2403 (池田)

⑭ 来月一月、玉川台区民センターにて、予定しています。ぜひご参加を、主催 玉川台区民センター 利用者の会 (高橋)

筆塚は明治初期寺屋の師大塚寅三郎の為に近在の門弟一同が建てた記念碑

東京急行電鉄の創始者五島慶太氏が収集した古美術品を中心に、昭和34年同氏の喜寿を記念して開館した美術館